

Active

Learningの教材としての三重文肢構造(Tricolon) :
言語文化的視点から見た日英語表現の文化的相違の
多様性

メタデータ	言語: jpn 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2016-09-05 キーワード (Ja): Active Learning(能動学習), Tricolon(三重文肢構造), 数詞 3 の性質, 日英語の文化的相違, 創造性 キーワード (En): 作成者: 吉村, 耕治 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学短期大学部
URL	https://doi.org/10.18956/00006056

Active Learning の教材としての三重文肢構造 (Tricolon)

— 言語文化的視点から見た日英語表現の文化的相違の多様性 —

吉 村 耕 治

要 旨

21世紀の教員の役割は、「知識を伝達するための専門家」から「学習環境をデザインするコーチ (coach)」に進化している。大学の英語教材にも修辭学的表現が見られ、日英語の多様な文化的相違が反映している。例えば、主題-陳述型構文を好む日本語 vs. 主語-述語型構文を好む英語、状況中心表現を好む日本語 vs. 行為者中心表現を好む英語、動詞中心構造 vs. 名詞中心構造、修飾語句の先行を厳守する日本語 vs. 前置修飾と後置修飾を併用する英語など。「大中小」が英語では “small, medium, or large” と表現されるように、日英語の語順については鏡像関係が見られる表現が多い。ラテン語の “Veni, vidi, vici” (来た、見た、勝った) のような三重文肢構造 (Tricolon) は、英語教材にも散見される。そこで、「石の上にも3年」の数詞3と同様に、Tricolonにも「ひとくぎり」をつけることができるという数詞3の性質が見られることや、Active Learning の教材としての Tricolon の有効性と創造性について指摘する。

キーワード：Active Learning (能動学習)、Tricolon (三重文肢構造)、数詞3の性質、日英語の文化的相違、創造性

1. はじめに — 英語教材に見られる日英語表現の多様な相違と Tricolon の特徴

21世紀の大学は、「教育を提供するための場」から「学習を創出するための場」に推移しつつある。“How to Teach” から “How to Coach” や “What (not) to Teach” へ、つまり、教員中心 (teacher-centered) の授業から学生中心 (student-centered) の授業へ、teaching から learning へ、そして、「知識の教授や知識の転移」から「知恵の創造」へというパラダイム・シフトが着実に進行している。tricolon (三重文肢構造) は、聞き手や読み手を説得させる上で有効な表現であり、演説や広告だけではなく、いろいろな分野で活用されている。本稿では、tricolon にも「ひとくぎり」をつけることができるという数詞3の性質が見られることや、Active Learning (能動学習) の教材としても有効であり、学生たちが自分の考えをまとめる上で役に立ち、創造性を有していることを指摘したい。

大学の英語教材にも修辭学的表現が用いられており、日英語の多様な文化的相違が反映し

ている表現が散見される。例えば、格助詞「は」「が」を用いた主題-陳述型構文を好む日本語 vs. 行為者と行為について表す主語-述語型構文を好む英語、状況中心表現を好む日本語 vs. 行為者（人間）中心表現を好む英語、動詞中心構造を好む日本語 vs. 名詞中心構造を好む英語、修飾語句の先行を厳守する日本語 vs. 前置修飾と後置修飾の両方を併用する英語、‘be’（「ある」）言語になりやすい日本語 vs. ‘have’（「持つ」）言語になりやすい英語、否定表現を好む傾向がある日本語 vs. 肯定表現を好む傾向がある英語、聞き手志向の表現を好む傾向がある日本語 vs. 話し手志向の表現を好む傾向がある英語、「子音＋母音」が基本構造の日本語 vs. 母音の前後に3つまでの子音連鎖を許す子音中心型言語の英語など。このような日本語と英語の表現上の違いには、多様な言語文化的相違が反映している。

英語学習に必要な素質は、従来から「動機、やる気、根気」が重視されてきた。一般的には「元気、やる気、本気」¹や、団体競技の場合にはチーム内の「愛情、信頼、友情」などが大切とされている。教育上、教員と学生との信頼関係の構築は大変重要で、学生の学習意欲を喚起するためには、「ほめる、励ます、叱る」という3つの行為が必要と認識されている。このような3つの語句を用いる表現手法が、教育、ビジネス、娯楽などの広い分野で利用されている。語学では努力は必ず報いられるので、「あせらず、たゆまず、こつこつ」取り組むことが求められる。NHKの「ラジオ英会話」では毎回、“Keep on listening. Keep on practicing. And keep on smiling.”と語られる。この3つ目の表現“And keep on smiling.”の代わりに、“And keep on smiling, smiling, and smiling.”と“smiling”を3回、反復されることもある。人間生活に必要な「衣食住」は、英語では“food, clothing and shelter”と言われる。このような3つの構成要素（文肢）を含む表現は、それぞれの要素が同じ構造をしている。つまり、同格（apposition）構造の表現になっている。この表現では、脚韻や、頭韻、反復（repetition）などの表現技巧を伴うことが多い。このような3つの構成要素が同じ構造を持つ文章構造は、三重文肢構造（tricolon）と呼ばれる²。

簡単明瞭な手紙の用例とされるラテン語の“Veni, vidi, vici”（来た、見た、勝った）は、ローマの将軍で政治家のGaius Julius Caesar（前100年頃～前44）が、紀元前47年のゼラの戦い（Battle of Zela）の勝利をローマに伝えた時の言葉とされる。この表現にも、三重文肢構造が用いられている。この日本語翻訳をもじった「来た、見た、買うた（後期には「買った」に変更）」（大阪の日本橋にあった老舗の家電販売店、喜多商店のキャッチコピー）という表現を用いたテレビ・コマーシャルも生まれている。さらに、「初年次教育の経験—読んだ・書いた・わかった？」というもじり表現を題名に用いた講演も行われている。

三重文肢構造は、三位一体（the Trinity）の精神を持つキリスト教の聖書や、アメリカ合衆国大統領のスピーチ（演説）、Shakespeareなどの文学作品でも、相当の頻度で用いられている。キリスト教の三位一体は、創造主としての父なる神と、贖罪者としてこの世に現れた子なる神

のキリストと、信仰経験に啓示された精霊なる神とが、唯一なる三つの位格（ペルソナ）であるとする考えで、この三者に優劣の差はないと認識されている。このように3つの構成要素が同等で、特に重点がないと判断される場合もある。しかし、日本には3つあるものの内では「中を取る」習俗があり、欧米では「シンデレラ」の物語のように3番目を重視する習俗も見られる。この事実は、日本語や、英語、ドイツ語などの神話や、伝説、民話などで確認することができる。三重文肢構造の文章中で文脈から、どこに焦点が置かれているのかを考えることは、英語学習上、学生たち自身が書く英語の文章にリズムを与え、英語の文章を読む際には、読解力を深める上で有効であると考えられる。

三重文肢構造にはなっていないが、頭韻や脚韻を3回、繰り返した表現も、かなりの高頻度で用いられている。例えば、CocaColaの広告表現では、“Happy Pause for the Youth of All Ages . . . time for the cold crisp taste of Coke!”（すべての世代の若者にとって幸せな一息……コークのひんやりした、すがすがしい味を楽しむ時間）³のように、核（基本・中心）となる語のCokeに合わせて“cold crisp”という表現で、頭韻を踏む2語の知覚動詞を用いることによって、[k]音を頭韻として合計3回、用いている。統語上（文法上）の3回の反復を含む三重文肢という構造だけではなく、このコココーラの広告文に含まれる3回の音の反復にも、日本語の諺の「石の上にも3年」の数詞3と同様に、「ひと区切りをつける」ことができるといふ数詞3の性質が反映している。

2. 大学教材のテキストに見られる三重文肢構造の実例 —その表現効果と焦点

Reading用の一節（passage）を含む英語教材にも、tricolonの用例が含まれている。2012-14年度に関西外国語大学短期大学部で使用している1年次生用統一教材の*Insights for Today: Reading for Today Series* (Book 2) から、三重文肢構造の用例を以下に示したい。

1. Courtney's Texas—Big History, Big Cities, Big Hearts (p. 12)

（コートニー [12歳の娘] のテキサス—歴史が長く、大きな都市で、人情が厚い）

2. Texas is a big state. The first town we visited was El Paso. Two other neat towns were San Antonio and Austen. Austin is the capital city. It's very modern, very technology-oriented, and is really growing. We visited the capitol building there. (p. 12)

〔この英語例文の破線部は、後置修飾になっている〕

（テキサスは大きな州です。私たちが訪れた最初の町は、El Paso [エル・パソ] でした。すてきな他の2つの町は、San Antonio [サン・アントニオ] と Austen [オースティン] でした。オースティンは州都の都市です。そこは、とても近代的で、とても科学技術を重

視し、本当に成長しています。私たちはそこにある州議事堂の建物を訪れました。）〔日本語表現の破線部は、前置修飾になっている；日英語の表現上の相違の1つ〕

例2)の破線部は、後置修飾になっているが、その日本語訳の破線部は、前置修飾になっている。日本語では厳密に「修飾語句の先行」という規則が守られている。英語において厳密に守られている規則は、主語と動詞や、指示形容詞と名詞、関係代名詞とその先行詞の間に見られる一致 (concord) という現象である。英語の構造 (structure) を理解することによって一致の間違いを少なくすることができるので、英語の構文理解が大切である。

三重文肢構造の文肢は、語や句 (words and phrases) だけではなく、以下の例3)と例4)のように、文 (sentence) になる場合もある。例3)では、「Do + 主語 (twins) + 動詞 + 限定詞 + 目的語 + ?」の構造が3回、反復されている。例4)では、“Do you sometimes feel ~?” が3回、反復されている。これらは代表的な tricolon の用例である。

3. Scientists want to know about twins, too. Do twins feel the same pain? Do they think the same thoughts? Do they share these thoughts? (p. 41)

(科学者たちも、双子たちについて知りたいと思っている。双子たちは、同じ苦痛を感じているのか？ 彼ら(双子たち)は同じ考えを抱いているのか？ 彼らはこれらの考えを共有しているのか？)

4. Do you sometimes feel lonely? Do you sometimes feel stressed? Do you sometimes feel sick? If you answered “Yes” to these questions, you might not need a doctor. (p. 131)〔特にこの例は三重文肢構造になっている文の代表的な用例である〕

(寂しい〔孤独である〕と感じることはありませんか？ ストレスがたまっていると感じることはありませんか？ 病気だと思うことはありませんか？ これらの質問に、たとえ「Yes」〔あります〕と答えたとしても、ひょっとすると医者が必要としないかもしれません。)

例4)の“If you answered ~”のifは、“even if”の意で、仮定法過去が用いられているため、現在の事実と反することを仮定しており、実現の可能性が低いことが表現されている。

5. This includes a comfortable home, a loving family, and a good education. (p. 63)

(これ〔a happy life: 幸せな生活〕には、快適な家庭や、愛情に満ちた家族、良い教育が含まれている。〔英語では「a + 形容詞 + 名詞」構造が反復されている〕

6. Even though adoptees do not know about their past or their natural parents, they do

know that their adoptive parents want them, love them, and will care for them. (p. 64)
〔三重文肢構造には反復 (repetition) と変奏 (variation) が含まれている〕

(養子たちは、たとえ自分たちの過去や自分たちの生みの親たちについて知らないとしても、養子として自分たちを迎えてくれた〔育ての〕親たちが、自分たちを必要とし、自分たちを愛し、これからも自分たちを世話してくれることを、ちゃんと知っている。)〔them の反復に、人間中心表現を好む英語らしさが反映している〕

7. Today I met my daughter for the first time. She is very small, very thin, and very afraid. On the way home in the airplane, she slept most of the time. When she woke up, she cried. I am very nervous and hope that I can be a good mother to Katerina. (p. 78)〔very を反復し、very に続く語を変奏している〕

(今日〔養子を迎える母親の日記の2月18日〕)、私〔育ての母親〕は初めて私の娘〔養子としてくるロシアの幼い少女、Katerina〕に会った。彼女はとても小さくて、とても痩せていて、とても怖がっている〔おびえている〕。家に帰る途中の飛行機の中で、彼女はその時間のほとんどの間、寝ていた。彼女は目を覚ますと、泣いた。私はとても不安で、Katerina にとって良い母親になれることを願っている。)

8. I am worried about how Katerina will be in school. Next week she will start kindergarten. How will she communicate with the other children? How will she understand her teacher? (p. 78)〔how と will と同一の主語が反復されている〕

(私は、カテリーナが学校でどのようにしているだろうかと心配している。来週、彼女は幼稚園に行き始める。彼女は他の子供たちと、どのように意思疎通を行うのだろうか？ 彼女は先生の言うことを、どれくらい理解するのだろうか？)

9. Katerina looks much healthier now. She has gained weight, her hair is shiny, and her skin is clear. (p. 78)〔人称代名詞の“her hair”の her の使用に、人間中心表現を好む英語の特徴が反映している。her が2度、繰り返し使用されている〕⁴

(カテリーナは今では、〔以前よりも〕ずっと健康そうに見える。体重が増加したし、髪の毛がつつやつやしており。肌が〔視覚的に〕きれいになっている〔透き通っているように見える、の意〕。) (日本語訳では her は、表現されていない；状況中心表現を反映)

例9) の表現に続いて、“She loves to watch television with her brother, and she has learned to roller-skate. She is doing well in school, and her English gets better every day.” (p. 78) (彼女〔カテリーナ〕は、兄と一緒にテレビを見るのが大好きです。そして、彼女は、ローラースケートの仕方を身につけたところだ。彼女は学校で上手くやってくれており、日々、英語が上手くなっている) と、3回、she を主語にした文章が用いられている。その後、“Although

she sometimes looks sad, and sometimes cries, most of the time she is happy.” (p. 78) (彼女は悲しそうな顔を見せることがあり、声を出して泣くこともあるが、大抵の時間はうれしそうにしている) と、sometimes を 2 回用いた後に、3 番目に time を、“most of the time” という 4 語から成る成句表現の中で用いている。3 番目の語句には、1 番目や 2 番目の表現よりも長い表現を用いており、漸層法を利用している。そして、“I think she is slowly getting used to her new life with us. After only three months, I can't imagine my life without her.” (p. 78) (彼女は私たちとの新しい生活にゆっくり慣れてきていると思う。3 か月しか経っていないのに、私は彼女のいない生活を想像することができません) と、「ひとくぎりのつく少ない数」という性質を持つ数詞 3 を用いている。英語では “After only three months” と、only を用いているが、日本語訳では「3 か月しか経っていないのにに」と、否定表現を用いて訳した。このように英語では肯定表現を用いているが、日本語では否定表現になる例がかなり見られる。その逆に、「それは困るんです。」は、英語の婉曲表現を用いると、“I'm not happy about that.” と否定表現で言われる。翻訳や通訳を行う場合には、各言語の表現スタイルに合わせて、肯定表現と否定表現を使い分ける必要がある。

10. iRobot, an American company, announced that it has robots that can wash, sweep, or vacuum your floor. Although these robots do not look like people, they can work just as hard. (p. 90) [英語は構造 [structure] が重要で、この例文の後半部の最後に、“as people” が省略されている；意味の理解には省略に気づくことが大切である]⁵

(アメリカ合衆国の企業、iRobot は、家の床を洗ったり、履いたり、きれいに掃除するロボットを作ったと公表した。これらのロボットは人のように見えないけれども、まったく [人と] 同じように一生懸命働くことができる。)

例10) の前半の文章では、主節の動詞 announce が過去形 announced になっているが、従属節の動詞 have が三人称単数の現在形 has になっている。英語は一致 (concord) を厳密に守る言語であるため、関係代名詞 that に続いて現在形の can が用いられている。主節で過去形を用い、従属節中で現在形を用いるという「時制の不一致」は、表現されている内容が真実 (truth) であることを暗示している。一致を厳密に守る英語においても、例外のない規則はない (Every rule has its exception.)。1960年代に生じた feminism (女性解放運動) や1980年代から1990年代前半に生じた Political Correctness (政治的公正さ) の影響で言語変革運動が生じた結果、書き言葉では “Everyone has his or her own opinion.” (誰にも自分の意見がある) が一般的に用いられるが、21世紀に入ると話し言葉では “Everyone has their own opinion.” という数が一致していない表現も用いられている⁶。

例11) では、実例を示す際、各種類に対して3つずつの用例が具体的に提示されている。

11. The food guide describes six basic food groups: meat (beef, fish, chicken, etc.), dairy (milk, yogurt, cheese, etc.), grains (bread, cereal, rice, etc.), fruit, and vegetables. The last group is fats, oil, and sweets. (p. 151) [meat の例に肉食文化が反映]

(その食べ物ガイドには、6つの基本的な食べ物のグループが載っている。つまり、肉 [牛肉、魚肉、鶏肉など] や、乳製品 [ミルク、ヨーグルト、チーズなど]、穀物 [パン、シリアル、ご飯など]、果物、野菜である。6つ目のグループは、脂肪や、オイル [油]、甘いもの [砂糖菓子] である。) [「牛肉、魚肉、鶏肉」という表現に借用文化の跡]

例11) のように実例を示して、「～など」と表現する際には、少なくとも3つの用例を提示すると、読み手や聴き手が理解しやすくなる。この例においても、「ひとくぎり」をつけることができるという数詞3の性質が内包されている。

12. Like her mother, Irene combined family and career. Like her mother, Irene was awarded a Nobel Prize, along with her husband Frederic, in 1935, for synthesizing new radioactive elements. Unfortunately, also like her mother, she developed leukemia because of her exposure to radiation. Irene Joliot-Curie died from leukemia on March 17, 1956. (p. 212) [1つ目の文肢が英語では肯定表現: 'like her mother' の3回の反復]

(アイリーンは、母親と同様に、家庭と職業(仕事)とを切り離さなかった。彼女は母親と同様に、1935年に新しい放射性要素を合成したことにより、夫のフレデリックとともに、ノーベル賞を受賞した。不運にも、さらに母親と同様に、彼女は放射能被爆のため白血病を発症した。イレーヌ・ジョリオ＝クリューは、1956年3月17日に白血病で亡くなりました。) [1つ目の文肢が日本語訳では否定表現になることで自然な日本語になる]

例12) の1つ目の文肢は“Irene combined family and career”と肯定表現であるが、日本語では「家庭と職業を切り離さなかった」と否定表現で表すのが自然であろう。“Please Use Other Door.”が「このドア、使用禁止」、「Just do it.”が「やるしかない」と表現されるように、英語の肯定表現が、日本語では否定表現で表される事例が多い。

例13) でも具体的な例を提示する場合に、3つずつの用例を挙げて説得力を加えている。

13. They run lights, a solar refrigerator/freezer, and other household appliances, such as a dishwasher, washing machine, and vacuum cleaner. (p. 237)

(彼ら [=the Collinses: コリンズ夫妻] は、電灯 [lights は “electric lights” の省略表現] や、太陽光発電を利用した冷凍／冷蔵庫 [日本語と英語の語順が鏡像関係になっている]、そして、食器洗い機 [自動皿洗い機] や、洗濯機、電気掃除機のような他の家庭器具を [太陽光発電で] 動かしている。)

英語では例13) のように “refrigerator/freezer” と言われるが、日本語では「冷凍／冷蔵庫」と呼ばれる。「東西」は太陽の運行によって決められているので、英語でも “east and west” と表現されるが、「東西南北」は “north, south, east and west” と言われる。また、「あちこち」は “here and there”、「動植物」は “plants and animals”、「飲食物」は “food and drink” のように、日英語の語順に鏡像関係 (mirror image relation) が見られることが多い。

見かけ上の三重文肢構造も存在する。意味のまとまりが低いが、単に3回、同じような構造の表現を繰り返すことによって三重文肢構造の表現力が備わっている用例もある。例えば、“Sava is just meant to help people. The robot has no intelligence. It has no ability to learn. It's just a tool.” (p. 101) (サーバ [ロボットの先生] は人々を助けることになっているだけです。そのロボット [サーバ] には知能 [思考力] が備わっていない。学ぶ能力はない。単なる道具に過ぎない。) では、言い換えながら、「ロボットは道具である」という結論を述べている。この用例も、三重文肢構造と判定される。この例文では、ロボットは機械の一種であるため、人称代名詞の it で表現されている。英語では baby も it で表現され、その赤ちゃんの男女の区別が分かったり、愛情の念が生じるようになると、he や she で表現されるようになる。英語では人とモノとの区別が、日本語よりも一層明確である。

3. スピーチ (演説) の伝統的手法としての Tricolon

奴隷解放の父と称せられるアメリカ合衆国第16代大統領 Abraham Lincoln (1809-1865、共和党所属の初の大統領)⁷は、民主主義の本質を語った演説として世界的に有名な “Address at Gettysburg” (ゲティスバーグ演説、1863年9月19日)⁸で、以下の演説を行っている。例14) では、ほぼ同じ意味の語句が3回、反復されている。

14. But, in a larger sense, we cannot dedicate — we can not consecrate — we can not hallow — this ground. (Abraham Lincoln, “Address at Gettysburg,” 西川秀和: 26) [we と cannot を反復しているが、2つ目と3つ目の文肢では can と not を離れた否定の強調形を用いている。これも、一種の漸層法 (climax) である]

(しかし、より大きな意味において、私たちはこの地を神のためにささげることはでき

ません、一神聖化することはできません、一神聖なものと崇めることはできません。)

15. It is rather for us to be here dedicated to the great task remaining before us — that from these honored dead we take increased devotion to that cause for which they gave the last full measure of devotion; that we here highly resolve that these dead shall not have died in vain; that this nation, under God, shall have a new birth of freedom; and that government of the people, by the people, for the people, shall not perish from the earth. (Abraham Lincoln, “Address at Gettysburg,” 西川秀和：27) [resolve の目的語として3つの that 節が続いている構造になっている]

(我々の前に残されている偉大な事業〔自由と平等が実現される民主主義国家の設立〕に身を捧げるべきは、むしろ我々である — つまり、それ〔その偉大な事業〕は、これらの名誉ある戦死者たちから、彼らが最後の死力を尽くして献じようとしたその主義のために、一層の献身を受け継ぐことです。これらの戦死者たちが無駄死にすることがないように、この国家が、神のもとで、新たな自由を誕生させるように、そして、人民の政治、つまり、人民による、人民のための政治が、この地上から滅びることがないように、ここにいる我々が堅く決意することである。)

例15) の “government of the people, by the people, for the people” という表現は、日本語では20世紀には「人民の、人民による、人民のための政治」と訳されることが多かったが、21世紀の現在では「人民の政治、つまり、人民による、人民のための政治」と理解するのが良いと判断されつつある。表現上は「前置詞 + the + 名詞」という3つの異なる意味の前置詞句が反復されているように見えるが、意味上は最初の文肢の意味を明確にするために、二番目と三番目の文肢が用いられている構造と解釈するのが自然である。

Obama 大統領も、三重文肢構造の表現をスピーチに利用することが多い。

16. We need every single one of you to develop your talents and your skills and your intellect so you can help us old folks solve our most difficult problems. (My Education, My Future, *CNN English Express* 編集部：28) [人称代名詞の your を反復して用いるところに、人間中心表現を好む英語らしさが表れている]

(私たちには、皆さんが私たち年寄りを助けてくれて、私たちの最も困難な問題を解決することができるように、皆さん一人ひとりに、皆さんの才能や技術や知性を伸ばしてもらう必要があります。)[「必要がある」に状況中心の表現の特徴が反映]

17. But he once said, “I have failed over and over and over again in my life, and that’s why I succeed.” (My Education, My Future, *CNN English Express* 編集部：40) [over

を反復しており、3つ目の文肢でのみ over again という表現を用いている]

(しかし、彼 [Michael Jordan] は以前、こう言った。「繰り返し、繰り返し、何度も人生において失敗を重ねてきたが、だからこそ、成功した」と。)

4. 広告文・標語・歌詞などの多様な三重文肢構造の実例

英語の発音は、音の強弱を重視した「強勢アクセント」(stress accent) であるため、聞き手に意味を伝える上で重要な部分は、「強く、ゆっくり、はっきりと」発音されるが、重要でない部分は、「弱く、速く、つながって」発音される傾向がある。発音面でも、前景化と背景化を意識するほうがよい。それに対して、日本語は「高低アクセント」(pitch accent) であるため、「あいうえお」の5つの母音を明瞭に発音することが重要である。上述のように英語と日本語の発音の特徴について説明する文章中にも、三重文肢構造が用いられている。

避難訓練の心構えをまとめた標語の「おはし」は、「押さない、走らない、しゃべらない」の語頭の文字を用いた地口になっている。さらに1文字を追加した「おはしも」は、「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」を表している。三重文肢構造の表現が基になって、四重文肢の表現が生まれることがある。さらに、五重文肢の表現も生じている。例えば、子供向けに制作された、冷静に行動・判断するように教える標語の語呂合わせの「いかのおすし」は、「[知らない人について] いかない・[知らない人の車に] のらない・おおきな声で叫ぶ・すぐ逃げる・[何かあったらすぐ] 知らせる」を意味する。

牛井の大手外食チェーンストア、吉野家の2000年代の主要概念 (core concept) は、「うまい、安い、早い」である。吉野家のホームページによると、1959年に日本橋の築地で創業した時には「うまい、早い」が重要な概念であったが、1970年代には「早い、うまい、安い」と表現され、1980-90年代には「うまい、早い、安い」、2000年代に「うまい、安い、早い」になっているようである。このように「うまい」「安い」「早い」という3つの概念の表現順序が年代によって微妙に変化している。この3つの表現の順序は、重視される概念の優先の順位 (priority) を表している。2007年に再出発した吉野家ホールディングスにおいても、「うまい、安い、早い」が「客数主義」(お客の来店頻度の向上) とともに、経営理念を表す重要な価値観の一つにされている。つまり、1970年代以外では牛井の味が、最も大切な概念とされてきたことが理解できる。2番目が価格の安さで、3番目が早さある。三重文肢の表現の順序に意味が込められていることが、明確に理解できる。

2003年より展開されているスバルのブランドメッセージは、「Think, Feel, Drive」である。知性を感じ、感性に響き、ドライバーに感動をもたらすクルマづくりを通して、個性的でプレミアムなブランドを目指すという意味が込められていると説明されている。

パイオニア (Pioneer) グループの世界統一ブランドのスローガンも、「Sound, Vision, Soul」と三重文肢構造で表現されている。sound は、「オーディオ分野を表すとともに、お客様との共振・共鳴を目指し、企業として健全である」ことを表している。vision は、「映像分野を表すと同時に、未来を見据えた、確たる決意」を示している。そして、soul は、音と映像によるエンターテインメントを感動にまで高めていく強い決意を表しているようである。このように三重文肢構造の内部にも、三重文肢構造が内包されている。

美しい女性を形容する日本語の慣用表現「立てば芍薬 (シャクヤク)、座れば牡丹 (ボタン)、歩く姿は百合 (ユリ) の花」も、三重文肢構造の表現である。「立てば (3音) + 芍薬 (4音)、座れば (4音) + 牡丹 (3音)、歩く (3音) + 姿は (4音) + 百合の (3音) 花 (2音)」、つまり、「7音 + 7音 + 7音 + 5音」という七五調を基調とする構造になっている。

その他にも、多様な三重文肢構造の表現がいろいろな分野で利用されている。

18. “Eye it. Try it. Buy it.” (2010 Nissan Maxima の広告文)
19. 「うれC, たのC, D I C」(新幹線の車内における DIC の2014年の広告文)
20. 「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」(非核三原則と呼ばれる日本国民の支持を得た国是で、1967年に内閣総理大臣の佐藤栄作氏が主張した)
21. 「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」(日本国憲法の三大要素を表す)
22. 「立法・行政・司法の三権分立」(国家権力の区分で、国会〔国権の最高機関で、抽象的な法規を定立する立法機関〕・内閣〔法を執行する行政機関〕・裁判所〔憲法や各種の法規を適応し裁定する司法機関〕という三権の分立を意味する)
23. 「ホップ、ステップ、ジャンプ」(陸上の三段跳び競技の一步目〔ホップ〕、二歩目〔ステップ〕、三歩目〔ジャンプ〕を意味するが、意味の抽象化が生じている場合がある)
24. 「気高く、強く、美しくあれ」(櫻井よしこ氏の本の題名、2006年、小学館発行)
25. 「自由、平等、友愛 (博愛)」(Liberté, Égalité, Fraternité [リバルテ、エガリテ、フラテルニテ]、英語では liberty, equality, fraternity : フランス革命期のスローガンの一つであったが、現在はフランス共和国の標語になっている : これらの3要素に加えて、「友情」「慈善」「誠実」「団結」などがある ; 「救済、力、団結」もある ; 「自由、平等、友愛」に続けて、「そうでなければ死を！」と言及されることもある ; 「自由に生きるか、そうでなければ死を！」はフランス共和国の重要なスローガンで、フランス革命初期のころには「自由、平等、財産」という言葉が一般的であった)

例25) の「自由、平等、友愛」は、近代における人類の基本的価値基準になっている。自由を意味する freedom は、奴隷状態や拘留などからの身体的自由を意味し、liberty は、政治的に

認められた権利としての精神的自由を意味する。権利としての自分の自由だけではなく、社会の他の人々も自由を権利として享受することが保証されることを含意している。つまり、自由という概念には、平等の概念や他の人への思いやり（情け）も含まれている。自由は、他人に危害を加えない限り（harm-principle：危害原理）、自己決定の権利（autonomy：自治権）があり、あらゆることを行う自由があることを意味している。標語の2番目の「平等」にも社会的な側面があり、共和国への愛の概念から生じている。すべての人間は生まれながらにして平等であり、法の下で平等であることが表されている。「自由、平等、友愛」は、それぞれが別の意味を持つと同時に、お互いに共通の概念を表しており、責任や秩序の概念も付随されている。この事実に気付いた時の学生たちの感動は、誠に大きい。そこに、active learningの教材として三重文肢構造を用いる大きな意義があると判断している。

英語の広告文からの三重文肢構造の用例を、以下の例26) に示す。

26. We procure premium concert seat tickets, set up restaurant reservations, and make travel arrangements for our clients. We run errands such as picking up prescriptions, grocery shopping, and mailing letters and packages. (Stanley's Concierge Service の広告文書) [三重文肢構造だけではなく、頭韻や音の反復の技巧が見られる]

(私たちの会社は、お客様のためにコンサートの高額席チケットの確保や、レストラン予約の手配、旅行手続きを行います。また、処方箋のピックアップや、食料品の買い出し、手紙や小包の発送のような使い走りを行います。)

この広告文書では、「当社、私たちの会社」の意の we に続けて、“procure premium” という p 音の頭韻、その後の “concert seat tickets, set up” という s 音の3回の反復、“restaurant reservations” の r 音の頭韻、その後続けて “and make travel arrangements for our clients” という r 音と l 音の交互の利用が行われている。上記の s 音の3回の反復は、三重文肢構造の最初の文肢と2つ目の文肢を連結する働きもしている。2つ目の三重文肢構造では、we に続けて、“run errands” という s 音の2回の反復、“such as picking up prescriptions” という p 音の頭韻と s 音の2回の反復、“grocery shopping, and mailing letters and packages” という r 音と l 音の2回の反復と p 音の頭韻の追加使用が行われている。つまり、三重文肢構造の発音は、この意味上の区分を連結する役割を果たしている。

英語のユーモアの中にも、“Since her latest boyfriend met her, he can't eat, he can't sleep, he can't drink. No wonder — he's broke.” (彼女の最近のボーイフレンドは彼女に会って以来、食べることも、寝ることも、飲むこともできない。当然です — 彼は破産しています。)がある。このジョークには、期待はずし (anticlimax) が用いられている。

人間が生活する上で基本的に必要なもの (the basic needs [necessities] of life) は、日本語では「衣食住」と言われるが、英語では “food, clothing and shelter” と言われる。日本語の「住」に対応する shelter は、「(雨露をしのぐ) 住い」を意味する。「彼らは衣食住が豊かだ」は、英語では “They are well fed, well clothed and well housed.” と言われる。英語では「衣食住」の「衣食」の順番が逆になっており、食を重視する考えが反映している。日本語で「衣」が最初に来ているところには、恥の文化が反映していると考えられる。この衣食住の概念の重要性は、英語のアルファベットの A の語源が、衣と食を賄ってくれる ox (牡牛) を象徴しており、B の語源が tent, house であるということにも反映している。

古代ギリシャから伝わる推論規則の三段論法には、大前提 (major premise)、小前提 (minor premise: 一般的な原理)、結論 (conclusion) という 3 つの命題が含まれている。三段論法は、前提が重要で、新しいアイデアが出にくい表現であるが、3 つの要素から成っている。

キリスト教の三大巡礼地の「エルサレム、バチカン、サンティアゴ・デ・コンポステーラ (スペインのガリシア地方にある Santiago de Compostela)」など、3 つで代表させる例が多く用いられている。日本三景 (the three most famous scenic places in Japan) の「松島、宮島、天橋立」や、三大チェーン (three major chains)、三大栄養素 (タンパク質、脂肪、炭水化物) も、3 つでまとまりを持っている。「仏法僧」や、「報連相」(報告、連絡、相談) もある。

安倍晋三首相が進める大胆な「金融緩和」、機動的な「財政政策」、民間の投資を呼び起こす「成長戦略」は、アベノミクスの「三本の矢」と呼ばれている。

Three Letter Code と呼ばれるアルファベット 3 文字の名称が、世界の空港に用いられている。関西国際空港の英語表記は、Kansai International Airport であるが、Three Letter Code は KIX になっている。KI の後に続く文字では I と X しか残っていなかったため、発音しやすく、響きのよい X が採用されている。この Three Letter Code にも「ひとくぎりをつけることができる」という数詞 3 の特性が反映している。

5. Active Learning における教材としての三重文肢構造の有効性

テキストの教材の中に用いられている三重文肢構造の表現力を学生たちに認知してもらうために、最初に、テキスト内の三重文肢構造の説明を行った。その後で、三重文肢構造の表現例をテキスト以外で、日本語と英語で見つける課題を学生たちに与えた。そして、学生たちに三重文肢構造の有効性についてアンケート調査を行った。

三重文肢構造の有効性について、10点満点で学生たちに評価してもらった結果は、10点: 5名、9点: 2名、8点: 9名、7点: 20名、6点: 12名、5点: 7名、4点: 2名、3点: 5名、2点: 1名であった。評価者の人数は63名で、総得点は412点。平均点は、6.5点であった。

三重文肢構造の有効性の評価を記述する方法は、1から10までの目盛の上に、スラッシュ（/）を記入する方式で記入してもらった。

学生たちから三重文肢構造についてのコメントを書いてもらったので、以下に記したい。

- ① シンプル、かつ、意味が分かりやすく、短いので、イメージが残りやすいです。
- ② 相手に、より強い印象と説得力を与えることができるので、有効だと思います。
- ③ 三重文肢構造はよく目にします。分かりやすいので目にしたら、すぐに分かります。
- ④ 意識し始めると、いろいろな場所で目にし、耳にしました。強い印象を残す時に、とても有効であると思いました。自分でも積極的に使っていきたいと思います。
- ⑤ 三重文肢構造は、頭に入って来やすい表現だと思います。
- ⑥ 三重文肢構造でアピールすることによって覚えやすくなり、印象に残りやすくなる。大人も子供もすぐに覚えられるため、災害時の約束やモラルに関するスローガンに使用すると、子供も意識しやすいので、三重文肢構造が使われるといいと思う。
- ⑦ 記憶に残りやすいので、広告、プレゼンなどの際に、使える方法だ。私も人に何かをアピールする場合には、三重文肢構造を積極的に使っていこうと思う。
- ⑧ 僕のバイト先も四半ヶ月に一度はテーマを持って売り場を作る。今のテーマとその1つ前のテーマは、三重文肢構造〔の表現〕である。これらは印象に残ります。
- ⑨ 英作などをする際も、A, B, and C など、例を挙げるのに用いています。例を挙げる時に3つよりも少ないと、何か物足りない感じがするし、説得力も違うと思います。

三重文肢構造の有効性については、予想以上に、好感を持っている学生が多いことが分かった。しかし、「面白いし、役立つと思うけれども、難しい」という意見もあった。

6. おわりに一大学の教材として三重文肢構造を学ぶ効果

外国との交流のパイプは、G2G（政府間）、B2B（企業間）、P2P（市民間）の3つに大別されている。このような三重文肢構造は、同じ構造の表現を3回、繰り返したただけであるので、簡単に簡潔な表現である。学生たちに三重文肢構造の表現に注目させることによって、英語や日本語の表現に関心を持たせ、学生たち自身の力で三重文肢構造を発見する楽しみを感じさせることができると考えた。その予測と効果は、当初の見込みを上回っていた。

作詞・作曲が吉田美和で、Dreams Come True の唄に、「うれしい!たのしい!大好き!」という歌がある。この三重文肢構造の例では、3番目に焦点がある。作詞 Koshi Inaba、作曲 Tak Matsumoto で、B'z の唄に、“Go・Fight・Win” というタイトルの歌がある。学生たちが

日常生活で接することばの中にも、三重文肢構造が多く用いられている。食料品店の Fresco の広告文 “Fine days, cloudy days, and rainy days” (晴れの日も曇りの日も雨の日も) や、「なばなの里」(三重県) の広告文「世界で最も美しい花、ペゴニアの花……『色鮮やか』で『綺麗』で『美しい』花です。このすばらしい花々の『驚き』と『感動』をぜひ、お持ち帰り下さい。」など、豊かな三重文肢構造の表現がいろいろな分野で駆使されている。⁹

短歌の「57577音」で表現された「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」(江戸時代後期の米沢藩主、上杉鷹山の短歌) も、3つの構成要素で成り立っている。3つの構成要素で成立しているという特徴に、数詞3の性質が反映している。英語の諺では、“Where there’s a will, there’s a way.” (意志のあるところに道がある；成せば成る) と表現される。この諺では will と way の contrast が重要な役目を担っている。対句表現に同じ構造のもう1つ別の表現が追加されると、三重文肢構造の表現になる。

文章の3段階の構成を表す語句に、「序破急」がある。日本の雅楽(舞楽)から生じた概念で、雅楽の演奏や、能楽、浄瑠璃、歌舞伎、連歌(和歌)、香道などの構成について言及する際に利用されている。世阿彌(1363-1443)の『風姿花伝』でも言及され、序破急は世の中の森羅万象すべてのことに関係しているとしている。序(初めの導入部)は、すなおで自然な姿で、無拍子・低速度で展開され、破(中間部)は、分かりやすく砕かれて、拍子が変わり、急(終りの結末部)は、最後の風体で、加速される。能の序破急には5つの段階があり、序が1段、破が3段、急が1段とされている。つまり、序破急の全体が3段であり、破も3段という二重構造になっている。表層だけではなく、深層構造にも、三重分肢構造が見られる。

学校教育の現場においては、「難しいことはやさしく、やさしいことは深く、深いことは面白く」伝えられるように努力することが求められている。21世紀になってからインターネットの活用によって、貧富の差に関わらず無償で、世界中のすべての学習者に質の高い教育を提供することを目指す MOOC (Massive Open Online Courses) の動きが、急速に普及し始めている。映像や、画像、アニメーション、文字などの情報メディアを活用することができ、remedial education への応用が試行されている。教育環境が進化しているため、大学における授業の進め方も、常に進化が求められている。

人間は社会的な動物である。つまり、人間は1人で生活する力を持つ必要があるが、1人だけで生活することは困難であるため、人間はお互いに協力し合う必要がある。そこで、重視されている概念に、「自助、共助、公助」という3つがある。三重文肢構造で表現されている事柄は、基本的な概念であることが多いため、今後の人間生活においても役立つものが多い。この事実が実感できた学生が多かったために、三重文肢構造の有効性が6.5点というかなり高い評価に繋がったと考えられる。

三重文肢構造の最大の効果は、読み手や聞き手に対して説得力を高める上での有用性にあ

る。さらに、英語の読解力に深みを与え、リズムを持った表現を習得させる上でも効果的である。三重文肢構造は、ギリシャ・ローマの古代から用いられており、国や地域、時代を超えているだけではなく、未来においても駆使され続ける表現である。学生たちが日常生活の中でも三重文肢構造の表現力に気づくことが十分に可能なため、Active Learning における教材として三重文肢構造を用いる有効性は高いと判断できる。

註

1. この「元気、やる気、本気」に続けて、「根気、勇気」が加えられることもある。やる気は、「やる気を出して勉強しよう、やる気を出して運動しよう、やる気を出して仕事をしよう」、本気は、「本気で考えよう、本気で勉強しよう、本気で運動しよう」、勇気は、「勇気を出して発表しよう、勇気を出して挑戦しよう、勇気を出して行動しよう」と、三重文肢構造の表現で説明されている。このような重層的な用例も見られる。
2. Cf. 拙論 (1981: 289-308)、(1983: 75-86)。語学では、とにかく声に出して言語の発音練習を行うことが大切である。そこで、ドイツ語でも“Sprechen, sprechen, sprechen”と3回、反復させた表現が使われる。英語では“Let’s speak up.”や“Let’s speak out.”と言われる。一息で5回、発音練習した後は、文章を書いて覚えることが有効である。
3. 英語では“Youth is not a period in life, but the way one keeps his spirit.”(青春とは人生のある時期をいうのではなく、人の心の持ち方である)と言われる。心が大切に、五感を満足させても、心を満足させることはできない。英語で「幸せはお金では買えない」は、“Happiness cannot be bought with money.”や“Money can’t buy happiness.”と表現される。環境を良くすることが幸せにつながると思う人が多いのだが、幸福と感じる心に幸福があることも知る必要がある。物質で人の心を満足させることはできない。温かい心(愛情)は、「慈悲」(charity [隣人愛、カリタス]、compassion [思いやり、同情])と呼ばれる。
4. 日本語の掲示の「足元注意」は、英語では“Watch Your Step!”と表現される。英語は「する」言語で、「行為者+行為」(actor—action)型になる傾向があり、人間(行為者)中心表現を好む傾向がある。それに対し、「なる」言語の日本語は、状況や事柄を中心にした表現を好む傾向があり、行為者を目立たないようにする傾向がある。また、英語は‘Have’(持つ)言語(所有構文)になる傾向があるのに対して、日本語は‘Be’(ある)言語(存在構文)になる傾向がある。「[あなたは]ダンスが上手だと思います。」は、“I think you are a good dancer.”と表現され、英語では名詞中心構造になる傾向がある。このdancerは、「ダンスを職業にしている人」の意ではない。「最高に楽しかった。」は“I had a blast! (blastは「とびきりすばらしいもの」の意)、「魅力的な生き方ですね。」は“You have a glamorous lifestyle.”と表現される。“She has a huge ego.”は、「彼女はいつも自分が最高だと思っている。」を意味する。Cf. 拙論 (2006: 17-26)。
5. 例10)の後半の文章では、対比(contrast)が用いられており、構造(structure)に基づいて省略

(ellipsis) が行われている。この例10) の後半の文章は、英語が構造を重視する言語であることを反映する例文になっている。

6. Cf. 拙論 (2003: 113-143)、(2005: 118-141)。
7. Abraham Lincoln は、確かに奴隷制の拡張に反対し、奴隷解放に尽力したが、白人と黒人の不平等は容認しており、Native American に対しては徹底的に排除する姿勢をとり、大量虐殺の指揮を執り続けたと言われている。人権の尊重や民主主義の精神は、21世紀に引き継がれている遺産(資産)である。『ウィキペディア』の「エイブラハム・リンカーン」の項目を参照。
8. 1863年11月19日に Gettysburg 国立墓地設立記念式典で、南北戦争の犠牲者を悼んで述べた272語の挨拶である。
9. 「真善美」(the true, the good and the beautiful; truth, goodness and beauty) や「知情意」(intellect, emotion, volition) のように、人間生活で重要な基本的概念が三重文肢構造で表現されている。さらに、「それは自然を原則とし、正義を規則とし、法を防壁とする」というような核心部分の表現だけではなく、「清潔・快適・安全に利用できるよう、一人一人がマナーを守りましょう。」(多機能トイレ内の利用についての注意書き) や「スポーツの世界でも格闘技の世界でも、あるいは伝統芸能の世界でも『型』を身につけるのは『始まり』に過ぎません。しかし、『型』がないと始まらないのもまた確かです。」(飯田泰之: 15-16) のように、さりげなく用いられていることもある。英語で「国内総生産」を表す語句は、“Gross Domestic Product” で、GDPと略語で表現されるように、英語の略語も3文字のものが多。三重文肢構造表現の多様性や多用性に気づくことは、数詞3の神秘的な数(mystical number)としての性質だけではなく、ことばの不思議や大切さについて考える好機にもなる。

Select Bibliography

1. 第一次資料(大学Textを含む):

Smith, Lorraine C. and Nancy Nici Mare (1999, 2011 Fourth ed.) *Insights for Today: Reading for Today Series*, Book 2, Australia, Brazil, Japan, Korea, Mexico, Singapore, Spain, United Kingdom, and United States: Heinle, Cengage Learning.

CNN *English Express*編集部(編)、茂木健一郎(監訳)(2009) *Obama Speaks to America's Schoolchildren* (『オバマから子どもたちへ』)(永久保存版、生声CD付き、対訳) 東京: 朝日出版社。

西川秀和(2008)『歴史が創られた瞬間のアメリカ大統領の英語』(*Presidential Speeches: CD Book*) 東京: ベレ出版。

2. 第二次資料(本・論文):

Nisbett, Richard E. (2003) *The Geography of Thought*, New York: Free Press. [村本由紀子(訳)(2004)『木を見る西洋人・森を見る東洋人』 東京: ダイヤモンド社。]

William Glasser, M.D. (1986 as *Control Theory in the Classroom*) *Choice Theory in the Classroom*, New

- York, London, Toronto, and Sydney: Harper Perennial.
- William Glasser, M.D. (1990) *The Quality School: Managing Students without Coercion*, New York: Harper and Row. [柿谷正期 (訳) (1994) 『クオリティ・スクール』 東京: サイマル出版会。]
- William Glasser, M.D. (1998) *Choice Theory: A New Psychology of Personal Freedom*, New York: HarperCollins. [柿谷正期 (訳) (2000) 『グラッサー博士の選択理論—幸せな人間関係を築くために』 東京: アチーブメント出版。]
- 安藤貞雄 (1986, 1999) 『英語の論理・日本語の論理—対照言語学的研究』 東京: 大修館書店。
- 飯田泰之 (2014) 『思考をみがく経済学—NHKラジオビジネス塾』 東京: NHK出版。
- 塩澤 正・吉川 寛・石川有香 (編集) (2010) 『英語教育と文化—異文化間コミュニケーション能力の養成』 (英語教育学体系第3巻) 東京: 大修館書店。
- 田中圭治郎 (1996) 『多文化教育の世界的潮流』 京都: ナカニシヤ出版。
- 羽鳥博愛 (著) (1996) 『国際化の中の英語教育』 東京: 三省堂。
- 森住 衛・神保尚武・岡田伸夫・寺内 一 (編集) (2010) 『大学英語教育学—その方向性と諸分野』 (英語教育学体系第1巻) 東京: 大修館書店。
- 山田雄一郎 (著) (2006) 『英語力とは何か』 (広島修道大学学術選書33) 東京: 大修館書店。
- 吉村耕治 (1981) 「Tricolonの用法と効果について」 関西外国語大学『研究論集』、第33号、pp. 289-308。
- 吉村耕治 (1983) 「欽定訳聖書におけるTricolonの表現効果と呪術性」 関西外国語大学『研究論集』、第37号、pp. 75-86。
- 吉村耕治 (2003) 「現代英語表現の変移と人権」 関西外国語大学『人権教育思想研究』、第6号、pp. 113-143。
- 吉村耕治 (2005) 「現代英語表現に見られる言語変革運動の成果」 関西外国語大学『人権教育思想研究』、第8号、pp. 118-141。
- 吉村耕治 (2006) 「状況中心の表現と行為者中心の表現—日英語の根本的相違を探る」 表現学会『表現研究』、第84号、pp. 17-26。

(よしむら・こうじ 短期大学部教授)